



1. 新認定看護師 紹介



平成 22 年 6 月にがん化学療法看護認定看護師に認定を受けました。認定看護師としての知識・技術に磨きをかけ、がんと共に生きる方々の支援やその看護に携わる看護師の皆さんの支援に努めます。外来に所属していますが、是非、声をかけてくださいね。



がん性疼痛看護は、がん患者さんの抱える痛みのアセスメントを行い、疼痛緩和ケアを提供します。ケアは、個々の患者さんがその人らしい生活を送ることができ、QOLを維持・向上できることを目標としています。痛みを体験している人を理解し、痛みを和らげる方法を一緒に考えたいと思います。是非、声をかけてください。



感染対策は目に見えてすぐに効果の出るものではありません。毎日の積み重ねが大事です。まずは感染に興味を持ってみませんか？ 3人目にチャレンジしてくれる人を待っています！

2. 認定看護師が行うコンサルテーション

①ここをクリック

②ここをクリック

認定看護師へのコンサルテーションが電子カルテ上でできるようになりました。是非、活用してください！！

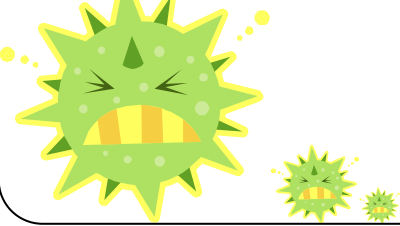
スタンプボックスからドラッグ&ドロップし文書を作成する

ID	カナ	氏名	年齢	性別
0008900023	テスト カンジャウ	テスト 患者03	59歳 08ヶ月(6:46:12:20)	男性

日付	07/06(月)	07/06(火)	07/07(水)	07/08(木)	07/09(金)	07/10(土)
入院	22	23	24	25	26	27
退院						

3. 認定看護師からのワンポイントレッスン

感染管理



アシネトバクターやNDM-1産生菌などの多剤耐性菌。新たな微生物がでてきても対策は基本が大切です。

標準予防策、特に手洗い、できていますか？

緩和ケア



緩和ケア「外来」が始まりました。

身体症状：毎週火曜日 午後

精神症状：毎週木曜日 午後

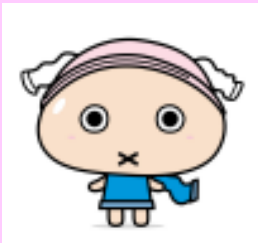
是非、ご活用ください。

がん化学療法看護



抗がん剤の曝露予防に努めましょう。抗がん剤には細胞毒性を持つものが多く、接触やエアロゾルの吸入により皮膚炎や眩暈、吐き気、頭痛などを催します。予防は、手袋・エプロン・マスク・ゴーグル着用です。

集中ケア



体位管理について

VAP（人工呼吸器関連肺炎）予防のため30度以上のファーラー位が推奨されていますが、人工呼吸器管理をしていない患者さんも、高齢や脳梗塞後遺症がある場合は夜間の誤嚥予防に、頭部挙上しましょう

皮膚・排泄ケア

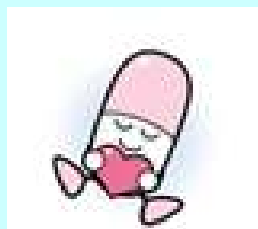


乾燥、手荒れが気になる季節になりました。

予防には保湿が一番です！

手洗い後は、“ソフティーハンドローション”やクリームをつけて保護しましょう！

がん性疼痛看護



痛みの起こっている部位には、NSAIDsが効果あるとされ、疼痛を自覚する中枢には、アセトアミノフェンが効果あると考えられます。両方を組み合わせ、効果的に鎮痛できるとよいですね。